

2011（平成23）年度

計 算 書 類

大阪市西区土佐堀1丁目5番6号
学校法人大阪YMCA

資金収支計算書

2011年4月1日から
2012年3月31日まで

(単位 円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒納付金収入	812,320,000	745,681,296	66,638,704
手数料収入	8,000,000	6,853,030	1,146,970
寄付金収入	0	4,372,887	△ 4,372,887
補助金収入	107,880,000	131,088,608	△ 23,208,608
資産運用収入	14,600,000	13,451,229	1,148,771
事業収入	238,000,000	230,155,962	7,844,038
雑収入	300,000	542,881	△ 242,881
前受金収入	260,000,000	232,357,131	27,642,869
その他の収入	54,000,000	62,774,985	△ 8,774,985
資金収入調整勘定	△ 286,000,000	△ 317,529,173	31,529,173
前年度繰越支払資金	379,671,101	379,671,101	0
収入の部合計	1,588,771,101	1,489,419,937	99,351,164

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	799,800,000	818,828,673	△ 19,028,673
教育研究経費支出	214,000,000	223,262,941	△ 9,262,941
管理経費支出	112,400,000	113,877,230	△ 1,477,230
借入金等返済支出	10,600,000	10,480,000	120,000
施設関係支出	44,000,000	91,600,000	△ 47,600,000
資産運用支出	30,000,000	0	30,000,000
その他の支出	86,000,000	133,857,048	△ 47,857,048
資金支出調整勘定	△ 60,000,000	△ 135,554,618	75,554,618
次年度繰越支払資金	351,971,101	233,068,663	118,902,438
支出の部合計	1,588,771,101	1,489,419,937	99,351,164

資金収支内訳表

2011年4月1日から
2012年3月31日まで

(単位 円)

収入の部							
科 目	部 門 学校法人	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高 校	大阪YMCA 国際専門学校			総 額
				専門課程	高等課程	計	
学生生徒等納付金収入	0	145,667,825	276,359,156	182,828,004	140,826,311	323,654,315	745,681,296
手数料収入	0	914,600	3,636,410	908,020	1,394,000	2,302,020	6,853,030
寄付金収入	0	284,009	0	0	4,088,878	4,088,878	4,372,887
補助金収入	0	7,552	63,041,595	15,496	68,023,965	68,039,461	131,088,608
資産運用収入	1,625,016	0	8,356,908	3,469,305	0	3,469,305	13,451,229
事業収入	10,270,000	73,020,579	267,000	119,294,123	27,304,260	146,598,383	230,155,962
雑収入	174,521	158,399	0	145,616	64,345	209,961	542,881
計	12,069,537	220,052,964	351,661,069	306,660,564	241,701,759	548,362,323	1,132,145,893

支出の部							
科 目	部 門 学校法人	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高 校	大阪YMCA 国際専門学校			総 額
				専門課程	高等課程	計	
人件費支出	108,752,393	153,687,909	204,874,994	205,349,966	146,163,411	351,513,377	818,828,673
教育研究経費支出	0	38,076,007	79,028,346	72,706,301	33,452,287	106,158,588	223,262,941
管理経費支出	31,333,104	15,631,914	25,491,483	22,015,094	19,405,635	41,420,729	113,877,230
借入金等返済支出	480,000	1,000,000	6,000,000	1,800,000	1,200,000	3,000,000	10,480,000
施設関係支出	0	0	39,900,000	30,503,000	21,197,000	51,700,000	91,600,000
計	140,565,497	208,395,830	355,294,823	332,374,361	221,418,333	553,792,694	1,258,048,844

消費収支計算書

2011年 4月 1日から
2012年 3月31日まで

(単位 円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	812,320,000	745,681,296	66,638,704
手 数 料	8,000,000	6,853,030	1,146,970
寄 付 金	0	4,372,887	△ 4,372,887
補 助 金	107,880,000	131,088,608	△ 23,208,608
国庫補助金	25,000,000	28,956,000	△ 3,956,000
地方公共団体補助金	82,880,000	102,132,608	△ 19,252,608
資 産 運 用 収 入	14,600,000	13,451,229	1,148,771
事 業 収 入	238,000,000	230,155,962	7,844,038
雑 収 入	300,000	542,881	△ 242,881
帰 属 収 入 合 計	1,181,100,000	1,132,145,893	48,954,107
基本金組入額合計	△ 10,000,000	0	△ 10,000,000
消費収入の部 合 計	1,171,100,000	1,132,145,893	38,954,107

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	799,800,000	827,119,786	△ 27,319,786
教 育 研 究 経 費	286,000,000	298,817,310	△ 12,817,310
管 理 経 費	134,400,000	136,100,177	△ 1,700,177
借 入 金 等 利 息	600,000	480,000	120,000
消費支出の部 合 計	1,220,800,000	1,262,517,273	△ 41,717,273
当年度消費支出超過額	49,700,000	130,371,380	
前年度繰越消費支出超過額	2,985,907,365	2,985,907,365	
翌年度繰越消費支出超過額	3,035,607,365	3,116,278,745	

第5号様式(第24条関係)

消費収支内訳表

2011年4月1日から
2012年3月31日まで

(単位 円)

消費収入の部					
部 門	学校法人	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高 校	大阪YMCA 国際専門学校	総 額
学生生徒等納付金	0	145,667,825	276,359,156	323,654,315	745,681,296
手数料	0	914,600	3,636,410	2,302,020	6,853,030
寄 付 金	0	284,009	0	4,088,878	4,372,887
補 助 金	0	7,552	63,041,595	68,039,461	131,088,608
国庫補助金	0	0	28,956,000	0	28,956,000
地方公共団体補助金	0	7,552	34,085,595	68,039,461	102,132,608
資産運用収入	1,625,016	0	8,356,908	3,469,305	13,451,229
事 業 収 入	10,270,000	73,020,579	267,000	146,598,383	230,155,962
雑 収 入	174,521	158,399	0	209,961	542,881
帰属収入合計	12,069,537	220,052,964	351,661,069	548,362,323	1,132,145,893
消費収入の部合計	12,069,537	220,052,964	351,661,069	548,362,323	1,132,145,893

(単位 円)

消費支出の部					
部 門	学校法人	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高 校	大阪YMCA 国際専門学校	総 額
人 件 費	112,215,459	149,438,013	213,514,451	351,951,863	827,119,786
教育研究経費	0	43,929,485	103,795,477	151,092,348	298,817,310
管理経費	45,161,121	16,282,300	28,243,387	46,413,369	136,100,177
借入金等利息	480,000	0	0	0	480,000
消費支出の部合計	157,856,580	209,649,798	345,553,315	549,457,580	1,262,517,273

貸借対照表

2012年3月31日

(単位:円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産	4,403,572,504	4,420,040,529	△ 16,468,025
(有形固定資産)	(3,839,217,408)	(3,845,394,724)	△ 6,177,316
土 地	1,090,072,424	1,090,072,424	0
建 物	2,741,624,330	2,745,742,533	△ 4,118,203
構 築 物	362,370	362,370	0
機 器 ・ 備 品	4,800,213	6,859,326	△ 2,059,113
図 書	2,358,071	2,358,071	0
(その他の固定資産)	(564,355,096)	(574,645,805)	△ 10,290,709
電 話 加 入 権	4,560,678	4,560,678	0
敷 金 等	705,890	705,890	0
財 団 貸 付 金	420,612,079	420,612,079	0
学 法 貸 付 金	130,000,000	140,000,000	△ 10,000,000
そ の 他 貸 付 金	7,655,047	7,945,756	△ 290,709
出 資 金	821,402	821,402	0
流 動 資 産	344,933,038	444,211,579	△ 99,278,541
現 金 預 金	233,068,663	379,671,101	△ 146,602,438
未 収 入 金	53,017,395	44,676,675	8,340,720
前 払 金	58,846,980	19,863,803	38,983,177
資産の部合計	4,748,505,542	4,864,252,108	△ 115,746,566
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 負 債	512,093,571	513,802,458	△ 1,708,887
長 期 借 入 金	20,000,000	30,000,000	△ 10,000,000
退 職 給 与 引 当 金	491,768,571	483,477,458	8,291,113
預 り 敷 金	325,000	325,000	0
流 動 負 債	400,965,470	384,631,769	16,333,701
短 期 借 入 金	10,000,000	10,000,000	0
未 払 金	103,031,256	55,245,497	47,785,759
前 受 金	232,357,131	256,704,177	△ 24,347,046
預 り 金	55,577,083	62,682,095	△ 7,105,012
負債の部合計	913,059,041	898,434,227	14,624,814
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	6,951,725,246	6,951,725,246	0
基本金の部合計	6,951,725,246	6,951,725,246	0
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	3,116,278,745	2,985,907,365	130,371,380
消費収支差額の部合計	△ 3,116,278,745	△ 2,985,907,365	△ 130,371,380
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部,基本金の部及び 消費収支差額の部合計	4,748,505,542	4,864,252,108	△ 115,746,566

学校法人 大阪YMCA
2011年度財産目録
(2012年3月31日現在)

I. 資産の部合計	4,748,505,542
1. 固定資産小計	4,403,572,504
(1) 有形固定資産	3,839,217,408
土地	1,090,072,424
建物	2,741,624,330
構築物	362,370
機器備品	4,800,213
図書	2,358,071
(2) その他の固定資産	564,355,096
2. 流動資産小計	344,933,038
(1) 現金・預金	233,068,663
(2) その他の資産	111,864,375
II. 負債の部合計	913,059,041
1. 固定負債小計	512,093,571
長期借入金	20,000,000
退職給与引当金	491,768,571
預り敷金	325,000
2. 流動負債	400,965,470
III. 基本金の部合計	6,951,725,246
IV. 消費収支差額の部合計	△ 3,116,278,745
V. 正味財産	3,835,446,501

平成23年度 事業報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

学校法人 大阪YMCA

学校法人大阪YMC A 平成23年度 事業報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

1 法人の概要

1 設置する学校・学部・学科等

(1) YMC A学院高等学校

通信制課程 (単位制) 総合学科

(2) 専修学校大阪YMC A予備校

文化教養一般課程 予備校本科

(3) 大阪YMC A学院

予備校本科、総合日本語学科、実用日本語学科

(4) 大阪YMC A国際専門学校

外国語専門課程

英米語学科、英米語専攻科

日本語学科2年コース、日本語学科1.5年コース

進学日本語学科

ビジネス専門課程

国際ホテル学科、国際ビジネス学科

国際高等課程

国際学科、表現・コミュニケーション学科

教育社会福祉専門課程

スポーツ&ウエルフェア学科、社会体育専攻科

2 学部・学科等の入学定員、学生数の状況

(1) YMC A学院高等学校

課程	学 科	学則定員	入学者数	平成23.5.1現在
通信制課程 (単位制)	総合学科	1,750	174	904

(2) 専修学校大阪YMC A予備校 平成15年4月1日をもって休校中

課 程	学 科	学則定員	入学者数	平成23.5.1現在
文化教養 一般課程	予備校本科	370	0	0

(3) 大阪YMC A学院

学 科	学則定員	入学者数	平成23.5.1現在
予備校本科	200	0	0
総合日本語学科	40	14	14
	40	1	34
	40	19	23
実用日本語学科	80	20	32
合 計	400	54	103

(4) 大阪YMC A国際専門学校

課程名	学科名	学則定員	入学者数	平成23.5.1現在
ビジネス専門課程	国際ホテル学科	80	23	55
	国際ビジネス学科	80	7	17
国際高等課程	国際学科	90	25	67
	表現・コミュニケーション学科	90	37	103
外国語専門課程	英米語学科	40	2	4
	英米語専攻科	25	7	7
	日本語学科2年コース	140	50	83
	日本語学科1.5年コース	100	0	42
	進学日本語学科	60	25	27
教育社会福祉 専門課程	スポーツ&ウエルフェア学科	80	0	0
	社会体育専攻科	20	0	0
小 計		805	176	405
ビジネス専門課程	国際ビジネス科Ⅱ部	200	0	0
小 計		200	0	0
合 計		1,005	176	405

3 役員・教職員の人数（平成23年5月1日現在）

(1) 役員

理事 8人（うち、理事長1人、常勤理事3人）

監事 3人（うち、常勤監事0人）

(2) 教員

YMCA学院高等学校

	専任			非常勤講師	任期制助手	合計
	教員	助手	計			
通信制課程	19	0	19	127	0	146

大阪YMCA学院

	専任			非常勤講師	任期制助手	合計
	教員	助手	計			
文化教養	7	0	7	34	0	41

大阪YMCA国際専門学校

	専任			非常勤講師	任期制助手	合計
	教員	助手	計			
ビジネス専門課程	5	0	5	17	0	22
国際高等課程	19	1	20	52	0	72
外国語専門課程	8	0	8	67	4	79
教育社会福祉専門課程	2	1	3	14	0	17
計	34	2	36	150	4	190

(1) 職員

YMCA学院高等学校

区分	人数
専任職員	10
兼務職員	1
計	11

大阪YMCA学院

区分	人数
専任職員	6
兼務職員	0
計	6

大阪YMCA国際専門学校

区分	人数
専任職員	9
兼務職員	4
計	13

2 事業の概要

1 事業の概況

時代に即した教育、時代と社会の変化を見通した教育を展開するため、学校法人大阪YMCAは大阪YMCAグループの他法人（公益財団法人大阪YMCA、社会福祉法人大阪YMCA、学校法人大阪YMCA学院）と連携して、長期的なVISIONを10年単位で策定しています。

2011年度はそのVISION2020の初年度に当たり、またそれを踏まえた学校事業中期2ヵ年計画(2011-2012年)の初年度ともなりました。VISION2020に基づき、大阪YMCA全体として、また学校法人が教育事業の中で、人が中心となるネットワーク型福祉社会を実現する活動を展開し、未来に希望を持ち、チェンジメーカーとなる青年を育む活動を展開します。

時代が求める教育を探求するため、大阪YMCAが行っている様々な事業間の連携によって教育に必要な要素を抽出し、また現状の教育の課題に応えるため、学校の枠を超えた事業運営を開始しました。すなわち、留学生を対象とした「留学生事業」、高校生世代を対象とした「高校生事業」、「語学国際事業」の3事業に括り直し、教育内容の充実を図りました。

2 主な事業の目的・計画および進捗状況

(1) 高校生を対象とした諸事業の連携を強化し、生徒の持つ諸課題の解決を支援する

YMCA学院高等学校は、今まで八洲学園と技能連携を行っていた横浜YMCAの高等学院が今年度より加入し、これにより連携校は全国で9校になりました。また生徒の卒業後の進路保障への取り組みを積極的に進めるために始めた、YMCA予備校との連携は、幅広い学力層への対応も開始しました。

大阪YMCA国際専門学校 国際高等課程 表現・コミュニケーション学科では、学習障がい児へのサポートクラスや総合教育センターとの連携を進め、個々の生徒への高いカウンセリング機能や指導体制を持ち、生徒が安心して学校生活を送ることのできる環境の整備をさらに進めました。また、一方では集団の中で必要なコミュニケーション力を養うための演劇活動も、大きな特色となりつつあります。

同国際学科は、帰国子女・外国籍の生徒の割合が徐々に増え、大阪府の実践的英語教育支援校に選ばれ、英語教育の特色を推し進める環境がさらに整いました。

(2) 日本語学科とビジネス専門課程が協力し、留学生、特に東アジア地域の青年育成に取り組む

大阪YMCA国際専門学校 語学・ビジネス専門課程では、大阪府専修学校各種学校連合会が受託した文部科学省の留学生総合支援プランの委託事業を、他専門学校と共同で取り組み、3年目として産官学の大きなネットワークを形成する中、具体的な留学生の日本における就労

支援に取り組みました。また、在阪の一流ホテルと協働して進めているホテルインターンシッププログラムは、日本人学生と共に東アジアの各国留学生の育成の場になりました。

大阪YMCA国際専門学校 日本語学科では、昨年度開講した大学院及び難関大学進学希望者のための進学日本語コースが順調に推移しました。また、短期集中コースに取り組み、韓国の仁徳大学・世明大学と提携プログラムを作りました。

(3) 日本人への外国語教育、外国人居住者・家族への日本語教育支援事業を進め、多文化社会の形成に寄与する

語学事業は教育の質をより向上させるため、昨年度から取り組んでいる指導体制の強化、カリキュラム、指導方法の再整備が効果を上げていました。

大阪YMCA学院日本語学科では、2年目を迎えた実用的な日本語修得を目指す方を対象とした「実用日本語コース」が、長期・短期の留学生のほか、家族滞在ビザ、配偶者ビザ、宗教ビザなどで在阪している外国人の受講者のニーズに大きく応えることができました。

(4) 発達障がい児支援プログラムの中学生世代からの取り組みの開始。

マイスペクラスとサポートクラス（発達障害の児童を対象とした、週一回の学習サポート及びソーシャルスキルトレーニングのクラス）のコラボレーションによる中学生J-IVYを1月より開設しました。これにより、小学生と高校生の狭間にありその対応に大きな期待を寄せていただいていた発達障がいや不登校に課題を持つ中学生とその保護者に、ふさわしい学びの場が提供できることになりました。

3 財務の概要

■ 平成23年度決算の概要

① 【 資金収支計算書 】

(1) 収入の部

高等学校および国際専門学校 国際高等課程 国際学科では、授業料無償化の影響で生徒数が減り、収入の減少に大きな影響が出ました。また国際専門学校では、日本人学生数が大幅に減少しました。日本語学科も震災の影響で来日する留学生数が激減しました。国際高等課程 表現・コミュニケーション学科が健闘しましたが、全体として収入予算を達成することはできませんでした。

(2) 支出の部

生徒数減少に伴う減収に合わせ、事業経費や広報費等を抑えることに努め、ある程度の支出削

減は出来ましたが、全体として収支差は減少し、予算達成はできませんでした。

② 【 消費収支計算書 】

(1) 消費収入の部

高等学校および国際専門学校 国際高等課程 国際学科では、授業料無償化の影響で生徒数が減り、収入の減少に大きな影響が出ました。また国際専門学校では、日本人学生数が大幅に減少しました。日本語学科も震災の影響で来日する留学生数が激減しました。国際高等課程表現・コミュニケーション学科が健闘しましたが、全体として収入予算を達成することはできませんでした。

(2) 消費支出の部

生徒数減少に伴う減収に合わせ、事業経費や広報費等を抑えることに努め、ある程度の支出削減は出来ましたが、減価償却引当費等を生み出すことができず、全体として収支差はマイナス方向に拡大し、予算達成はできませんでした。

(3) 当年度消費収支差額等

今年度は収入が減少しましたが、支出では特別引当費の支出がほとんどなく、当年度消費支出超過額が130,371,380円（予算額49,700,000円）となりました。

③ 【 貸借対照表 】

(1) 資産の部

固定資産は減価償却分の減少となり、流動資産は納付金収入の減収等により現金預金が減少しました（前年度比△11,570万円）。

(2) 負債の部

長期借入金返済は予算どおり執行しました。

(3) 基本金の部

変動ありません。

(4) 消費収支差額の部

今年度は収入が減少しましたが、支出では特別引当費の支出がほとんどなく、翌年度繰越消費支出超過額が3,116,278,745円（予算額3,035,607,365円）となりました。

4 今後の課題

昨今の厳しい経済状況の中、私立学校を取り巻く経営環境は大きく変化しています。そして、公立高等学校の授業料無償化はその変化をより大きなものにしていきます。安定的な学校経営を行うために、教育内容をさらに充実させ、すべての学生・生徒にとって魅力的な学校作りが必要です。

大阪YMCAは全体として広範囲な視点でVISION2020を策定し、時代と社会の課題の把握とそれらの解決に取り組むことに努めています。学校法人においても、社会全体とともに多様化する教育ニーズを把握し、そのニーズに対応するための変革に努めています。

中期計画では、今後もさらにその重要性が増加するものとして、2年間の重点項目に高校生年代と留学生及び在留外国人への学習支援をあげました。

いずれの場合においても、学生・生徒それぞれが多様な課題を持っており、その課題を解決するために、学校としても、さまざまな場面で学生・生徒を支援する取り組みのより一層の充実が求められています。

これからの教育界で、YMCAが対象としている多国籍な年齢層の学生・生徒にとって、何をなすべきかを考え、カリキュラムの充実と教職員のレベルアップによって、対応を継続して行っていきます。

監 査 報 告 書

2012年5月14日

学校法人 大阪YMCA

理事長 末 岡 祥 弘 殿

監 事 水 口 美 里  印

監 事 文 字 文 男  印

監 事 萩 原 義 明  印

私たちは、学校法人大阪YMCAの2011年度（2011年4月1日
より2012年3月31日まで）の財産の状況につき監査を行いました。
監査の結果、計算書類に記載された内容は、正確かつ妥当なものであり、
また、理事の業務執行は法令および寄付行為に従って、誠実に行われている
ものと認めます。

以 上